

平成26年度の学校経営における願い

校長 新田直

(1) 人との関わりを通して、所属感、責任感、尊敬(敬う)、感謝そして耐性を育てる。

○集団活動(分団、縦割り活動、学級遊びなど)の充実

朝の活動(さなえ)・・・分団遊びの奨励

地域の仲間としての連帯感

みどりの時間・・・・・・・・縦割り遊び・活動

集団遊びを教える、ルールを学ぶ

日課表の改善・・・・・・・・6月から10月は全校一斉下校(放課後の確保)

○保護者や地域の教育力の積極的な導入および活用

生活科、総合的な学習の時間、道徳、クラブなど

(2) まごころいっぱい活動(あいさつ・ありがとう・ほかほか言葉など)の推進…花づくりで福祉

<指定> 人権の花運動、JRC協力校、町福祉協力校

大垣信用金庫から花いっぱい運動

<校訓 真心(まごころ)> 五つの心を持ち、挨拶ができ、人に優しい、まごころいっぱいの仁木っ子

「はい」という「素直な心」 「ありがとう」という「感謝の心」 「すみません」という「反省の心」

「どういたしまして」という「謙虚な心」 「させていただきます」という「奉仕の心」

○あいさつ運動・・・・・・・・児童会(運営委員会)・六年を中心に工夫したキャンペーン
家庭、地域との連携での工夫した活動

○ありがとうキャンペーン

『ありがとうを10回、口に出そう！

ありがとうを5回、言ってもらえることをしよう！』

○人権の花・・・・・・・・縦割りでプランターの花を育て、学校を飾り、地域の施設にも飾ってもらう。

○大信花いっぱい・・・・・・・・環境委員会でプランターの花を育てる。

○福祉・・・・・・・・6年のまごころタイム

ディサービス、近所のお年寄りとの交流

(3) 学力をさらに伸ばす

平成25年度・・・○授業改善に目が向き、学力の向上傾向が表れた学年が多かった。

●学び合い、教科本質(見方、考え方)にこだわる授業

●定着させる段階、見届ける段階の指導に甘さ。家庭学習の習慣化

平成26年度

① 毎授業の終末、練習・個別指導の時間を10分確保。少人数指導(算数)

② 宿題課題の工夫・・・・・・・・計算ドリル、漢字ドリル中心からの脱却

市販やウェブプリント活用、ノートに書く課題など

③ 家庭との連携・・・・・・・・家庭学習の手引き、読書の習慣化(学級文庫の充実)

(4) H27生活科総合の県大会での公開授業に向けて力を蓄える

計画的に発達段階を踏まえ、子どもも教師も鍛えていく。+ 担任の願いと創意工夫見通しをもって教育課程を工夫改善し実施していく。『**こだわる！ やりきる！！**』

(5) 安心・安全の徹底

交通安全指導の徹底(飛び出し禁止、ヘルメット着用、道路歩行など)

『命を守る訓練』・・・毎月、いろいろな想定で訓練実施。

安全指導と施設管理の徹底・・・毎月の安全点検の確実な実施と日常点検の情報共有

PM2.5への防衛、インフルエンザなどの予防、アレルギー対応などの徹底